

トラックで燃費が25.3%向上

エコモ 財団 グリーン経営の効果

交通エコロジ・モビリティ財団はこのほど、平成20年度版のグリーン経営認証取得による効果（トラック、バス、タクシー）を発表した。

同財団では、グリーン経営認証取得制度を、平成15年10月のトラック運送事業者向けを皮切りに、順次各運輸事業者向けに開始し、環境負荷低減の実効性を定量的に評価するため、18年度から取得効果を公表してい

る。21年3月末現在で、認証登録したトラック、バス、タクシー事業者数は約2300社、保有する車両総数は15万台超と、全国の事業者の保有台数の1割以上に相当する。

認証取得事業者の平均燃費をみると、認証取得後の2年間で、車両総重量8t以上のトラックは、認証取得時に比べて4.5%増（プラス0.44キ）、8t未満は4.4

%増（同プラス0.25キ）、バス3.7%増（同0.11キ）、タクシーは3.2%増（同プラス0.18キ）といずれも燃費が改善した。

トラックの認証取得事業者の平均燃費を全国平均と比較すると、全ての車種区分で全国平均よりも良く、全車種区分の加重平均の比較では全国平均より25.3%良い水準だった。

認証を取得した全事業

者で燃費改善効果が期待できると仮定した場合のCO₂排出削減量は、年間約23万5000t（トラック19万2000t、バス2万6000t、タクシー1万7000t）と推計。

認証取得事業者の天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、アイドリングストップ装置付き車両などの低公害車等の保有率は、認証取得後の2年間でいずれも向上した。

認証取得事業者の10万キ当たりの交通事故件数は、認証取得後1年目に前年比でトラック25.9%、バス9.5%、タク

シー10.5%減少した。また、認証取得事業者の10万キ当たりの車両故障発生件数は、認証取得後1年目に前年比でトラック15.0%、バス9.2%、タクシー12.3%減少した。

アンケートの結果から、認証取得事業者は「燃費の向上」、「交通事故件数の減少」、「車両故障件数の減少」など当初から期待された効果に加え、

「職場モラル・士気の向上」、「お客様からの評価の向上」、「リーダー層の人材育成」といった副次的なメリットも感じていることが分かった。

いることが分かった。